

## 令和6年度吉川市下水道事業会計決算概要

## 1 業務量

区 分	R6年度	R5年度	比較	
			増減	増減率
水洗化世帯数	26,201 世帯	25,805 世帯	396 世帯	1.5%
年間総排水量	5,973,835 m <sup>3</sup>	5,887,505 m <sup>3</sup>	86,330 m <sup>3</sup>	1.5%
1日平均排水量	16,367 m <sup>3</sup>	16,130 m <sup>3</sup>	237 m <sup>3</sup>	1.5%

## 主な建設改良事業

(単位：円)

区 分	R6年度	R5年度	比較	
			増減	増減率
管渠事業	607,612,397	466,209,775	141,402,622	30.3%
ポンプ場事業	111,901,291	255,568,518	△ 143,667,227	△ 56.2%

令和6年度の業務量は、

- (1) 水洗化世帯数は、26,201世帯で、前年度に比べ396世帯（1.5%）増加しました。
- (2) 年間総排水量は、5,973,835m<sup>3</sup>で、前年度に比べ86,330m<sup>3</sup>（1.5%）増加しました。
- (3) 1日平均排水量は、16,367m<sup>3</sup>で、前年度に比べ237m<sup>3</sup>（1.5%）増加しました。
- (4) 主な建設改良事業につきましては、管渠事業6億761万2397円となり、前年度に比べ1億4140万2622円（30.3%）増額となりました。  
また、ポンプ場事業は1億1190万1291円となり、前年度に比べ1億4366万7227円（△56.2%）減額となりました。

## 2 収益的収入及び支出

### (1) 収益的収入

(単位：円)

項目	R 6 年度	R 5 年度	対前年比較	
			増減	増減率(%)
1 営業収益	943,124,923	933,663,913	9,461,010	1.0
下水道使用料	693,100,331	694,364,187	△ 1,263,856	△ 0.2
雨水処理負担金	246,801,319	238,043,000	8,758,319	3.7
受託事業収益	650,258	599,856	50,402	8.4
その他営業収益	2,573,015	656,870	1,916,145	291.7
2 営業外収益	726,572,448	643,641,125	82,931,323	12.9
受取利息	346,943	4,110	342,833	8341.4
他会計負担金	13,146,025	12,807,000	339,025	2.6
長期前受金戻入	679,778,405	610,363,489	69,414,916	11.4
消費税及び地方消費税還付金	33,143,609	20,399,654	12,743,955	62.5
雑収益	157,466	66,872	90,594	135.5
3 特別利益	425,093	268,845	156,248	58.1
過年度損益修正益	425,093	268,845	156,248	58.1
事業収益 計	1,670,122,464	1,577,573,883	92,548,581	5.9

下水道事業収益は、16億7012万2464円となり、前年度に比べ9254万8581円（5.9%）増額となりました。

#### 営業収益

・前年度に比べ946万1010円（1.0%）増額

##### 【下水道使用料】

下水道使用料は、6億9310万331円となり、前年度に比べ126万3856円（△0.2%）の減額となりました。水洗化人口の減少により、水道使用量が減少したことによるものと思われます。

##### 【雨水処理負担金】

雨水処理負担金は、雨水処理に要する経費について一般会計が負担するもので、2億4680万1319円となり、前年度に比べ875万8319円（3.7%）増額となりました。

##### 【受託事業収益】

受託事業費負担金は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の経費について松伏町が負担する分及び高久ポンプ場に接続されている国の水門の点検の経費について国が負担するもので、65万258円となり、前年度と比べ5万402円（8.4%）増額となりました。

##### 【その他営業収益】

その他営業収益は、257万3015円となり、前年度に比べて191万6145円（291.7%）の増額となっております。令和6年度より、人件費の一部を一般会計及び農業集落排水事業会計が負担することとなったため、増額となりました。

**営業外収益**・・・前年度に比べて8293万1323円（12.9%）増額

営業外収益は、7億2657万2448円となり、前年度に比べて8293万1323円（12.9%）増額となりました。主なものは、長期前受金戻入が6億7977万8405円で、前年度と比べて、6941万4916円（11.4%）の増額、消費税及び地方消費税還付金が1274万3955円（62.5%）の増額となりました。

**特別利益**・・・前年度に比べて15万6248円（58.1%）増額

特別利益は、42万5093円となり、前年度に比べて15万6248円（58.1%）増額となりました。主なものは、一般会計からの負担金である令和5年度一般会計負担金不足分が35万832円となっております。

**(2) 収益的支出**

(単位：円)

項目	R 6 年度	R 5 年度	対前年比較	
			金額	増減率
営業費用	1,433,283,271	1,321,409,633	111,873,638	8.5
管渠費	31,305,655	33,721,107	△ 2,415,452	△ 7.2
ポンプ場費	101,490,098	80,307,207	21,182,891	26.4
流域下水道費	241,140,440	237,772,600	3,367,840	1.4
受託事業費	415,334	378,096	37,238	9.8
業務費	58,269,805	71,346,871	△ 13,077,066	△ 18.3
総係費	47,582,883	36,551,458	11,031,425	30.2
減価償却費	933,535,536	858,544,650	74,990,886	8.7
資産減耗費	19,543,520	2,787,644	16,755,876	601.1
営業外費用	61,262,959	62,146,313	△ 883,354	△ 1.4
支払利息及び企業債 取扱諸費	61,262,959	62,146,313	△ 883,354	△ 1.4
特別損失	30,415,994	15,190,409	15,225,585	100.2
過年度損益修正損	30,415,994	15,190,409	15,225,585	100.2
事業費用 計	1,524,962,224	1,398,746,355	126,215,869	9.0

下水道事業費用は、15億2496万2224円となり、前年度に比べて1億2621万5869円（9.0%）増額となりました。

**営業費用**・・・前年度に比べ1億1187万3638円（8.5%）増額

#### 【管渠費】

管渠費は、3130万5655円となり、前年度に比べて241万5452円（△7.2%）の減額となりました。主なものとして、雨水幹線の除草等、雨水管渠施設の維持管理に係る委託料が1270万600円となっております。

#### 【ポンプ場費】

ポンプ場費は、1億149万98円となり、前年度に比べて2118万2891円（26.4%）の増額となりました。主なものとして、ポンプ場ストックマネジメント実施方針策定支援業務委託料が1980万円、施設管理に係る委託料が5459万2295円となっております。

#### 【流域下水道費】

流域下水道費は、2億4114万440円となり、前年度に比べて336万7840円（1.4%）の増額となりました。主なものとして、汚水処理のための県への負担金が2億3895万3400円となっております。

#### 【受託事業費】

受託事業費は、41万5334円となり、前年度に比べて3万7238円（9.8%）の増額となりました。内容は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の松伏町からの維持管理経費です。

#### 【業務費】

業務費は、5826万9805円となり、前年度に比べて1307万7066円（△18.3%）の減額となりました。主なものとしては、吉川市水道事業へ委託している下水道使用料徴収委託料が5207万6420円となっております。

#### 【総係費】

総係費は、4758万2883円となり、前年度に比べて1103万1425円（30.2%）の増額となりました。主なものとして、公共下水道事業計画等変更図書作成業務委託料が649万円、庁舎、公用車及びOA機器などの下水道事業使用分として一般会計に対する負担金が1198万2921円となっております。

#### 【減価償却費】

減価償却費は、9億3353万5536円となり、前年度に比べて7499万886円（8.7%）の増額となりました。

#### 【資産減耗費】

資産減耗費は、1954万3520円となりました。主なものとして、吉川橋の

架け替えに伴う汚水管の撤去等に係る費用です。

**営業外費用**・・・前年度に比べ88万3354円（△1.4%）減額

営業外費用は、6126万2959円となり、前年度に比べ88万3354円（△1.4%）の減額となりました。内容といたしましては、企業債等支払利息となっております。

**特別損失**・・・前年度に比べ1522万5585円（100.2%）増額

特別損失は、3041万5994円となり、前年度と比べて1522万5585円（100.2%）の増額となりました。主なものとしては、令和5年度一般会計負担金精算分が3040万6314円となっております。

**3 資本的収入及び支出**

**(1) 資本的収入**

(単位 円)

	R 6 年度	R 5 年度	対前年比較	
			金額	増減率(%)
1 企業債	578,600,000	655,900,000	△ 77,300,000	△ 11.8%
建設改良費等に充てるための企業債	414,800,000	473,600,000	△ 58,800,000	△ 12.4%
流域下水道事業債	18,800,000	26,700,000	△ 7,900,000	△ 29.6%
資本費平準化債	145,000,000	155,600,000	△ 10,600,000	△ 6.8%
2 他会計出資金	63,612,149	71,525,000	△ 7,912,851	△ 11.1%
一般会計出資金	63,612,149	71,525,000	△ 7,912,851	△ 11.1%
3 国庫補助金	263,985,000	209,210,000	54,775,000	26.2%
国庫補助金	263,985,000	209,210,000	54,775,000	26.2%
4 負担金	24,916,989	12,871,400	12,045,589	93.6%
一般会計負担金	22,869,668	12,624,000	10,245,668	81.2%
農業集落排水事業負担金	2,047,321	247,400	1,799,921	727.5%
資本的収入計	931,114,138	949,506,400	△ 18,392,262	△ 1.9%

資本的収入は、9億3111万4138円で、前年度に比べ1839万2262円（△1.9%）の減額となりました。

**企業債**・・・前年度に比べ7730万円（△11.8%）減額

企業債は5億7860万円で、前年度と比べて7730万円（△11.8%）の減額となりました。

**他会計出資金**

・前年度に比べ791万2851円(△11.1%)減額  
 他会計出資金は、6361万2149円で、前年度に比べ791万2851円(△11.1%)の減額となりました。これは、総務省の基準により一般会計で負担すべき企業債償還金分です。

**国庫補助金**

・前年度に比べ5477万5000円(26.2%)増額  
 国庫補助金は、2億6398万5000円で、前年度と比べて5477万5000円(26.2%)の増額となりました。内訳は、吉川美南駅東口における污水管布設工事において1億3927万3000円と雨水管布設工事において1億2471万2000円をそれぞれ充当しております。

**負担金**

・前年度に比べ1204万5589円(93.6%)増額  
 負担金は、2491万6989円となり、前年度に比べて1204万5589円(93.6%)の増額となりました。主なものといたしましては、資本的支出に係る人件費の一般会計負担金が2286万9668円となっております。

**(2) 資本的支出**

(単位:円)

	R 6 年度	R 5 年度	対前年比較	
			増減	増減率(%)
1 建設改良費	753,165,357	766,405,343	△ 13,239,986	△1.7
管渠費	607,612,397	466,209,775	141,402,622	30.3
ポンプ場費	111,901,291	255,568,518	△ 143,667,227	△56.2
流域下水道費	18,893,570	26,866,450	△ 7,972,880	△29.7
業務費	14,758,099	17,760,600	△ 3,002,501	△16.9
2 企業債償還金	446,550,958	443,568,366	2,982,592	0.7
建設改良費等の財源に充てるための企業債	354,655,357	356,398,619	△ 1,743,262	△ 0.5
流域下水道事業債	46,853,740	49,332,750	△ 2,479,010	△ 5.0
資本費平準化債	45,041,861	37,836,997	7,204,864	19.0
資本的支出	1,199,716,315	1,209,973,709	△ 10,257,394	△0.8

資本的支出は、11億9971万6315円で、前年度に比べ1025万7394円(△0.8%)の減額となりました。

**建設改良費**

・前年度に比べ1323万9986円(△1.7%)の減額  
 建設改良費は、7億5316万5357円となり、前年度に比べ1323万9986円(△1.7%)の減額となりました。

### 【管渠費】

管渠費は6億761万2397円となり、前年度と比べて1億4140万2622円（30.3%）の増額となりました。主なものといたしましては、吉川美南駅東口周辺地区における污水管等布設工事2億9220万1400円、同地区内の雨水管布設工事が2億7442万9500円となっております。

### 【ポンプ場費】

ポンプ場は1億1190万1291円となり、前年度と比べて1億4366万7227円（△56.2%）の減額となりました。主なものといたしましては、吉川中央第1調整池排水ポンプ他改修工事が2873万8000円、吉川中央第2調整池排水機場制御盤他更新工事が4356万円となっております。

### 【流域下水道費】

流域下水道費は、1889万3570円となり、前年度と比べて、797万2880円（△29.7%）の減額となりました。内容といたしましては、県の流域下水道施設建設に対する負担金となっております。

### 【業務費】

業務費は1475万8099円となり、前年度と比べて300万2501円（△16.9%）の減額となりました。内容といたしましては、取付管や公共ます等の污水排水設備工事費となっております。

### 企業債償還金・・・前年度に比べ298万2592円（0.7%）増額

企業債償還金は、4億4655万958円となり、前年度に比べ298万2592円（0.7%）の増額となりました。

### 【補填財源】・・・前年度と比べ813万4868円（3.1%）増加

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は2億6860万2177円となり、前年度に比べ813万4868円（3.1%）増加しております。

この不足額については、下記の資金で補填します。

	金額	説明
当年度分消費税資本的収支調整額	34,112,703 円	資本的支出のうち、課税支出に属する仮払い消費税の額
減債積立金	137,850,896 円	前年度末までに利益剰余金から企業債償還のために積み立てた積立金
過年度分損益勘定留保資金	96,638,578 円	前年度までの減価償却費から長期前受金戻入を差し引いた額

## 4 主な事業

### (1) 清潔で快適な生活環境の確保

#### ★ 水洗化率の向上

公共下水道処理区域内の未接続建物所有者に対し、接続していただくため、通知による接続依頼のほか、広報誌へ記事の掲載をしました。

### (2) 効率的な施設整備

#### ★ 管渠建設改良事業

○ 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業に伴う管渠布設工事

・ 汚水管布設工事費：L＝3282.71m 2億9220万1400円

・ 雨水管布設工事費：L＝984.25m 2億7442万9500円

※延長については工事完了分のみ

#### ★ ポンプ場設備更新事業

ポンプ場の設備の老朽化に伴い、実施した主な事業は下記のとおりです。

・ 吉川中央第1調整池排水ポンプ他改修工事 2873万8000円

・ 吉川中央第2調整池排水機場制御盤他更新工事 4356万円

・ 吉川中央第2調整池排水ポンプ他更新工事 1804万円

#### ★ 設備の適正な維持管理

設備を適正に維持するとともに長寿命化を図るため、設備の維持水準や優先度を考慮し、修繕等により設備の適正な維持管理を実施しました。

・ マンホール周辺舗装補修及び鉄蓋交換工事 527万6700円

・ 管渠内清掃業務委託等 258万7200円

・ 管渠内調査業務委託 429万円

### (3) 効率的な経営

厳しい経営環境のもと、信頼される下水道をめざすためには、安定した経営基盤の構築が不可欠であり、効率的な事業運営の推進に努めます。

#### ★ 事務の効率化

○ 下水道台帳の電子化を行い事務の効率化を図り、毎年度データの更新を行いました。

・ 下水道台帳整備委託料 572万円

・ 固定資産台帳システム保守業務委託料 65万3400円

## 5 下水道事業経営指標

項目	分析結果		指標説明
	R6年度	R5年度	
経常収支比率	107.4%	111.3%	当該年度において、料金収入等で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。
累積欠損金比率	0.0%	0.0%	営業活動で生じた損失を補てんできず、複数年にわたって累積した欠損金の状況を表す指標。0%であることが求められる。
流動比率	154.2%	135.4%	短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
企業債残高 対事業規模比率	779.8%	749.8%	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。
経費回収率	120.3%	125.6%	下水道使用料で回収すべき経費（汚水処理費）を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。
汚水処理原価	90.4円	86.3円	有収水量1m <sup>3</sup> あたりの汚水処理に要した費用。
汚水処理単価比率	120.3%	125.6%	使用料単価と有収水量に基づく汚水処理単価とを対比した指標。利益を出すためには100%以上である必要がある。
水洗化率	97.2%	97.1%	処理区域内人口のうち、実際に下水道を接続して汚水処理している人口の割合を表した指標。
有形固定資産 減価償却率	14.7%	12.7%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるか表す指標。
管渠老朽化率	0.0%	0.0%	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標。管渠の老朽化度合いを示している。吉川市においては法定耐用年数を超えた管渠はない。
管渠改善率	0.0%	0.0%	当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標。